

# ふるさと納税制度を利用した 犬の行政処分ゼロ運動は偽装愛護

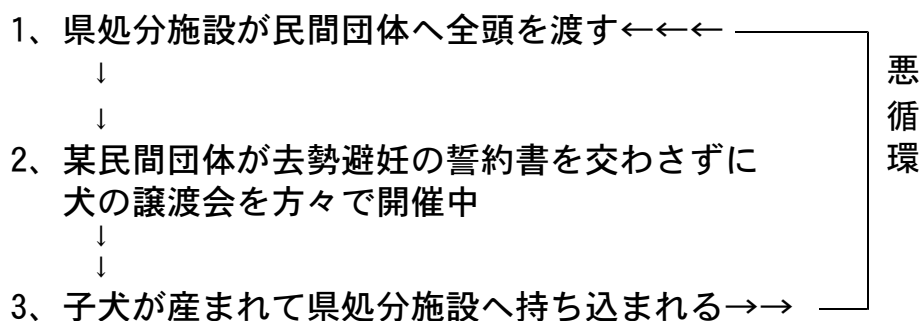
神石高原町と広島県は犬の行政処分ゼロを目指すという名目で、処分せずに県処分施設から民間団体へ全頭を渡しています。犬の行政処分数はゼロとなり、実態を知らない人には素晴らしく見えるが、、、

ふるさと納税制度で集めた寄付金7億円のうち5%は神石高原町に入り、95%はある民間団体に入った。7億の95%というと6億6500万円。それを犬の去勢避妊に充てていけば、今頃、行政処分場へ持ち込まれる頭数はゼロに近かったはず。

ちなみに、一匹20,000円で不妊手術できるとすると「ふるさと納税制度」で集まったカンパで33,250匹を不妊手術できる。

その33,250匹から子犬が産まれることはない。これほど確実に処分ゼロにする方法はないのだ。

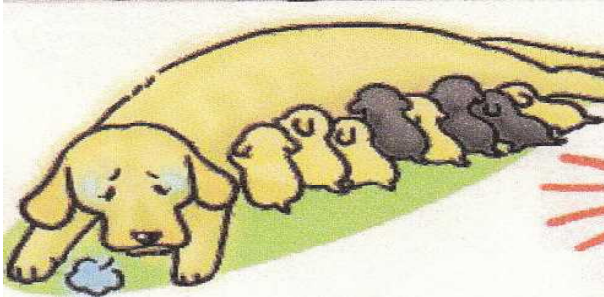
ところが、広島県で行われていることは、



一方、神石高原町役場のほうへは7億の5%の3500万円が入った。それを避妊去勢に充てていたなら、すぐにでも、行政処分場へ持ち込まれる頭数が激減したはずだ。役所も某民間団体も怪しい。

26年春、心ある有志がネットワークを作り、某民間団体へ公開質問状を出したが、去勢避妊を否定する回答がきている。今後、某民間団体へ意見をぶつけてもどうにもならないだろう。いかんせん、上の図（1→2→3→1→2→3の悪循環）で、億単位のお金が入る事業を展開している某民間団体が、正しい意見を聞き入れるとは思えない。今後、某民間団体はマスコミへ宣伝費を払ってマスコミを掌握して、更に事業拡大をしていくだろう。

打開策として、  
怪しい某民間団体や神石高原町役場へカンパしないようにしましょう。  
皆さんによるボイコットが偽装愛護事業を防ぎます。



広島県庁と神石高原町は、国の流れに逆行するため『公金の不当な流用』『公務員職務違反』となります。

それは、行政は去勢避妊啓発の職務を課せられているにもかかわらず、真逆の行動を取っているから。

そのため、「公務員法違反」で告発される日が近いでしょう。

一方、議会議員は腐りきった行政を監視する機能を果たさず、今後とも放置するのでしょうか。広島県の県民性は福島県とは違います。広島県と福島県の違いが解る人には、なぜ、広島県でこのような偽装愛護事業が展開されているのかというカラクリが解ると思いません。

## 去勢避妊手術が大切な理由

産ませた飼い主はいのちを持って余し、一日も早く家から追い出す目的で、「いま、いちばん、かわいい時期ですよお、もらってください」と言います。かたや、譲り受けるほうは、誰しものが初めは、「一生、大切に大切に飼います」と言い、「いずれ捨てるかも知れない」「いずれ、保健所へ渡すかも知れない」「虐殺する様子を動画配信する目的があるので譲り受けたい」とは言わないのです。

## 誰でも簡単に無料動画配信できる社会のおそろしさ

近年は、無料で誰でも動画配信できます。アクセス数を稼ぐための手段として、動物虐殺実況動画配信が増えたのでしょう。

## このピラは、公共の福祉に寄与する目的があるため合法ピラです。

処分・捕獲は税金で賄われています。よって、処分数削減のために去勢避妊を促すピラを配布することは公益性があります。

事実、犬に不妊手術を受けさせた飼い主は、犬を捨てたり、処分場へ持ち込むことがなくなりました。

去勢避妊は処分にかかる公費を減らすことに貢献します。

オスの飼い主にも責任の半分があります。男性の方、「オレには子供がいないが妻にだけ子供がいる」と言えますか？

このピラはコピーして拡散しましょう